

第7章 計画の実現にむけて

1 計画の推進にあたって

(1) 協働による都市づくりの推進

今後の都市づくりにあたっては、市民や地域・団体・事業所等と行政が、互いに力を合わせ、都市や地域の抱える問題等を効果的に解決していくことが求められます。

■市民の役割

市民は、広報誌やホームページ等を活用し、都市づくりに関する情報を収集し、各種計画づくりや都市づくりの実践の場への参加することにより、都市づくりの取組に計画段階から参画し、都市や地域の課題を解決する主体の一員としての役割を担います。

■地域・団体・事業所等の役割

地域の活動を通じて、地域の課題は、地域が主体となって自らで解決していく自律的な都市づくりを進めます。

また、公共空間の活用や維持・管理等にあたり、民間主体の活動や取組の促進、民間の資金やノウハウの活用についても検討し、民間活力を活かした公民連携による都市づくりを推進していきます。

■行政の役割

市は、市民等をはじめ多様な主体との協力、連携を深めていくとともに、総合的かつ効率的なまちづくりを着実に推進する必要があります。また、地域別構想や地域別ワークショップでのまちづくりの取組みアイデアを広く周知すること等により、これらを踏まえた市民等の自発的な取組を促進します。

(2) 関係機関等との連携

国・県をはじめとする関係機関との調整を図り、必要な事項について協力を要請する等、適切な連携のもとに効果的で効率的に事業を推進します。

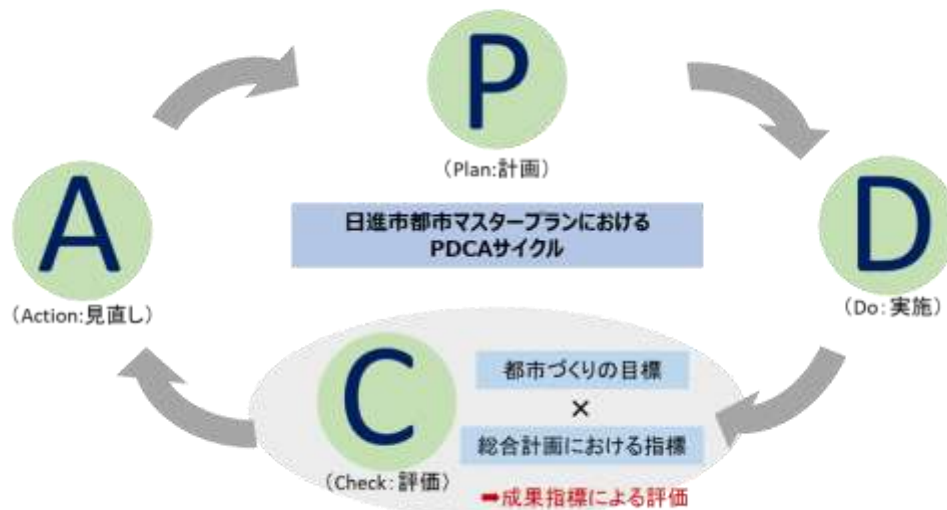
2 計画の進行管理

(1) 進捗状況に応じた見直しの検討

本計画は、長期的な視点から将来の本市の姿を展望しつつ、都市づくりに関する基本的な方針を定めたもので、全体構想では、概ね 10 年以内に優先的に取り組むべき施策の方針を定めています。

そこで、上位計画である「第 6 次日進市総合計画」で掲げられた基本成果指標を用いて、計画に掲げた 5 つの都市づくりの基本目標の進捗状況を把握します。また、基本目標ごとの都市づくりの方針の取組実績を確認し、各部署が計画の達成状況について情報共有し、計画の見直しや改善策の検討につなげていきます。(PDCA サイクルによる進行管理)

図 PDCA サイクル



(2) 社会経済情勢等の変化に対応した見直しの検討

上位計画である総合計画に大きな変更が生じた場合や、特定生産緑地指定事務に伴う農地から宅地への転用状況、今後の社会経済情勢の変化、協働による地域別の取組み等に伴い新たな課題や市民ニーズへの対応が必要となった場合には、必要な時期を見定め、計画の見直しを行います。

また、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のような新たな感染症の影響により、職住をはじめとするライフスタイルに変化が生じ始めていることから、新たな生活様式に対応した都市づくりのあり方や公共空間のマネジメントのあり方等、新たに都市計画に求められる役割を踏まえた見直しを必要に応じて行います。

表 都市づくりの基本目標×第6次日進市総合計画における指標

都市づくりの基本目標	第6次日進市総合計画			
	指標	現状値 令和2年度	目標値 令和7年度	目標値 令和12年度
1. 快適性の高い持続可能な都市づくり 生活利便施設の充実と誰もがアクセスしやすい中心拠点・鉄道駅周辺の都市機能の活性化により市街地環境の質の向上を目指します。また、都市施設の効率的な維持修繕、長寿命化を行い都市運営コストを削減するとともに、日常生活に必要な都市機能の確保等、地域特性に応じて将来世代も住み続けられる生活圏づくりを目指します。	車道の利便性に対する満足度	37.8%	40.0%	42.0%
	歩道の利便性に対する満足度	24.2%	26.0%	27.0%
	公共交通の利便性に対する満足度	25.6%	27.8%	30.0%
	くるりんばすの利便性に対する満足度	12.5%	21.3%	30.0%
	市内3駅の鉄道乗降客数	16,377,768人	16,475,103人	16,573,017人
2. 産業活力のある都市づくり スマートICの整備等による広域交通体系へのアクセス利便性の確保や既存産業の拠点強化・充実、就業の場となる新たな産業拠点の形成や生産性の高い優良農地等の保全により、広域交通基盤の充実を含めた産業機能の充実を目指します。	大型店舗の立地に対する満足度	49.3%	52.5%	55.0%
	人に紹介したいと思う観光資源がある市民の割合	11.5%	16.5%	21.5%
	観光入込客数	502,960人 (令和元年度)	508,960人	513,960人
	製造品出荷額	1,126億円 (令和元年)	1,126億円	1,179億円
	市内農業産出額	66,000万円 (平成30年)	67,000万円	68,000万円
3. ふれあいにぎわう都市づくり 既存ストックや商業施設、地域振興施設等を活かした市民や学生、子育て世代等がふれあう市民交流の場の充実や市外の交流人口を呼び込むための拠点の整備等により、高齢化が進行する中で地域を元気づけるとともに、地域コミュニティの維持・活性化や新たな都市活力の創出に向けた交流の拡大を目指します。	宅地の供給に対する満足度	22.6%	26.1%	28.7%
	安心して子育てできる環境であると感じる市民の割合	63.6%	66.0%	70.0%
	地域が支え合って暮らしていると思う市民の割合	35.7%	38.0%	40.0%
	生きがいを感じている高齢者の割合	57.5%	59.0%	60.0%
	年間商品販売額(卸売、小売業)	1,488億円 (平成28年)	1,623億円	1,698億円

都市づくりの基本目標	第6次日進市総合計画			
	指標	現状値 令和2年度	目標値 令和7年度	目標値 令和12年度
4. 安全安心な都市づくり 地域と連携した防災・減災対策の充実や狭あい道路の改善、無秩序な開発の抑制や空家、低・未利用地の利活用等により、都市防災力を強化するとともに、日常生活を支える交通機能や道路・公園等の都市施設の質の向上により安全安心な暮らしの確保を目指します。	災害対策に対する満足度	28.5%	38.0%	48.0%
	交通安全に対する満足度	35.5%	39.0%	42.5%
	空家対策に対する満足度	9.3%	11.1%	12.9%
	市内交通事故(人身)発生件数(人口1,000人あたり)	3件	3件	2件
	住宅の耐震化率	88.6% (令和元年度末)	95.0%	97.0%
5. 環境に優しい都市づくり 東部丘陵に広がる緑地や市街化区域を取り巻く農地等、豊かな自然環境や水辺環境を保全し、市民協働や民間活力の活用等により良好な景観の形成を目指します。また、利便性の高い交通機能や都市構造を構築し、環境負荷の小さい都市の形成を目指します。	田畑や森林などの景観に対する満足度	55.3%	58.3%	61.3%
	緑化の推進に対する満足度	42.2%	45.1%	48.1%
	お住まいの周辺の居住環境に魅力を感じると考えている市民の割合	60.2%	63.6%	66.1%
	自宅周辺の公園をよく利用している市民の割合	26.1%	27.7%	29.3%
	身近なところに水に親しめる場所があると思う市民の割合	33.5%	35.6%	37.8%